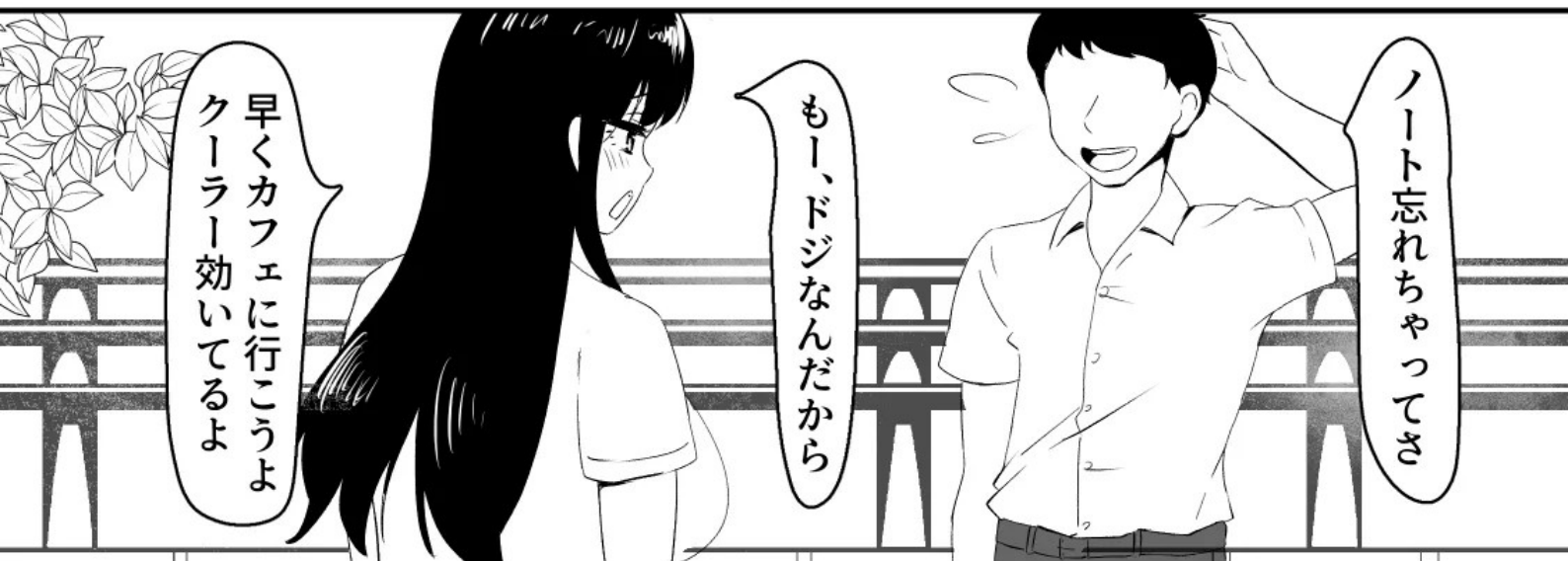






あ、そこは
thatじゃなくて
whereね

うーん、複雑だなあ

大丈夫よ、翔太って
サボるタイプ
じゃないから
頑張ればいけるわ

このままなら受験は
問題ないと思うわ

じゃあ、あんまり
気にすることないか

ちよつと休む？
疲れたでしょ

うん、休憩するよ

いやー、葉月がいなかったら
今ごろ留年かもね

俺、葉月と付き合って
元気になったんだ

だから、葉月と同じ
大学に行きたい！
そのために頑張るよ

そ、そう
なら頑張ろうね……

やっぱり翔太って素直だし
なんか憎めないのよね…

つい面倒を見なくなる

私たち
趣味が合うところから
付き合い始めたんだっけ…



もう1人、誰とも話さずに
食事をしている男子が
平田翔太だった



1年生のとき
1人で弁当を食べている
ぼっちだった
クラスメートが
好きな俳優や
バラエティの
話をしてても
馴染めなかった



うん、いいよ……

読み終わったら
私にも見せて
ほしいんだけど

そ、そうだよ……

それ
東京リベンジ
ウォーズよね

わっ、な、夏川さん！

ねえ、平田くん！



ん？あのマンガは……
東京リベンジウォーズ！
しかも最新刊！



買おうと
思ってたやつ！



うん、受検が
うまくいくように
買ったの

お守り？

そうだ、翔太に
お守りあげる



なに照れてんのよ

お、俺のこと……

翔太のこと考えてただけよ

ねえ葉月、どうしたの？
ボーっとして

懐かしい……
まさか付き合うなんてね



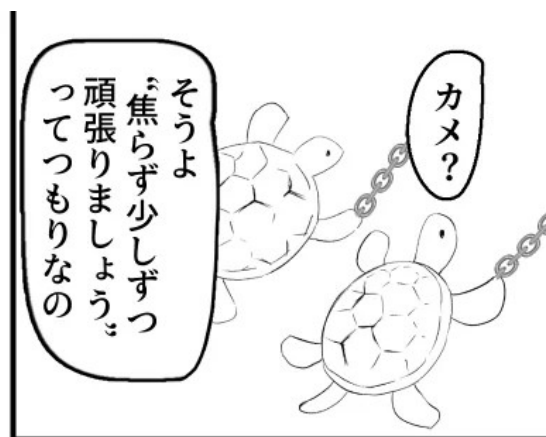
お、お揃い…

ほら、これで私たち
お揃いよ



わっ!?

翔太のカバンに
付けてあげるわ



カメ?

そうよ
焦らず少しずつ
頑張らましよう
ってつもりなの

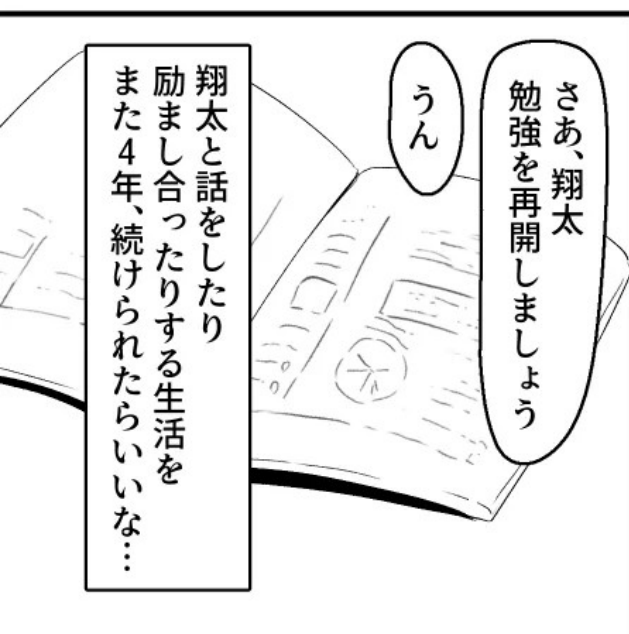


2人で頑張って
同じ大学に行こうね

翔太が頑張ってること
見てたら、私も
サポートしなきゃ
って思っちゃうの

私にできることなんて
大したことじゃないけど

隣で勉強を
見るのは
できるから



翔太と話をしたり
励まし合ったりする生活を
また4年、続けられたらいいな…

うん

さあ、翔太
勉強を再開しましょう



な、なんか
照れるなあ…

素直に喜んでいいのよ
言ってる私も
恥ずかしいんだから



蛭山(ひるやま)先生だわ…
本当に会いたくない

今日はどんなセクハラを
言われるんだろう…



ふう、暑

おお、女子たちは
スカート短くして
エロいねえ

グフツ、いいなあ
ナマ脚がいっぱいだ



イヤらしい人…
最低だわ

おやおや、なぜ
胸を隠すんだい？
立派な胸なのに
もったいないねえ



!?

やあ、夏川くん



僕のお気に入り…



スケベ丸出しで
平気でセクハラ
するなんて
絶対おかしいです

先生、異常です

女子の身体を
ジロジロ見るの
止めてください

何がおかしいのかね？

デカパイとか
太もも見てんの
たまらんぞ

このエロの楽しみを
夏川クンにも分けてあげたいよ
君もドロドロに汚されたら
案外ハマっちゃうかも、グフフツ

なんて非常識な人なの…

まるで別の生き物と
話してるみたいに
言葉が通じてないわ

ねえ、翔太
蛭山先生って絶対に
頭おかしいわよね

俺もそう思う
セクハラ教師だよ

しかも葉月のこと
ジロジロ見て
腹が立っちゃうな

男子ってみんな
スケベな目で
女子を
見てるの？

ドキドキは
するよ
葉月みたいに
カワイイ人が
露出してたら

な、何よ急に…

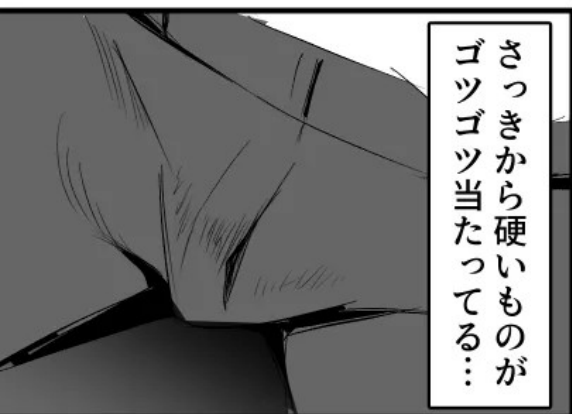
ほら、翔太
変なこと言っでないで
また勉強をしに行くわよ

わっ、葉月
急かさないで

いいから来なさい

うわっ!?

きゃあっ!?





んくうっ!

ぎゅっ



彼女として
尽くしたい…

固い…翔太が
たくましく見えるわ…



わっ、葉月!?

翔太、このままじゃ
帰れないわよね?



えっ?

あの、葉月
もう俺、ヤバいかも…

翔太ったら、摘んただけで
切ない声を出しちゃって…

葉月の手
柔らかい…

うん、手でする
くらいなら…

そ、そうだけど…
葉月、いいの?

男の人って、こうやったら
気持ちいいんでしょう?



いいいのよ
ここなら誰も
見てないし

ごめん、葉月
いきなり
出しちゃって



これが精液…
ホントに白いわ
それに暖かい…



きゃあっ!?

ぐううっ!

蛭山先生
話って何ですか？

夏川クンさ、彼氏に
手コキしてたよね？
ほら、よく
撮れてるだろ？

バラされたく
ないよね？

ウソ：
撮られてた！？

確かに私ですね
だから何ですか？

僕ともエロいこと
しようよ

さ、触らないで
ください！

抵抗していいの？
噂されちゃうよ？

別に
気にしません

そうかい…でもさ
大学はどうするの？

僕も担任だからさ
調査書に書くのさ
「非行がある」って

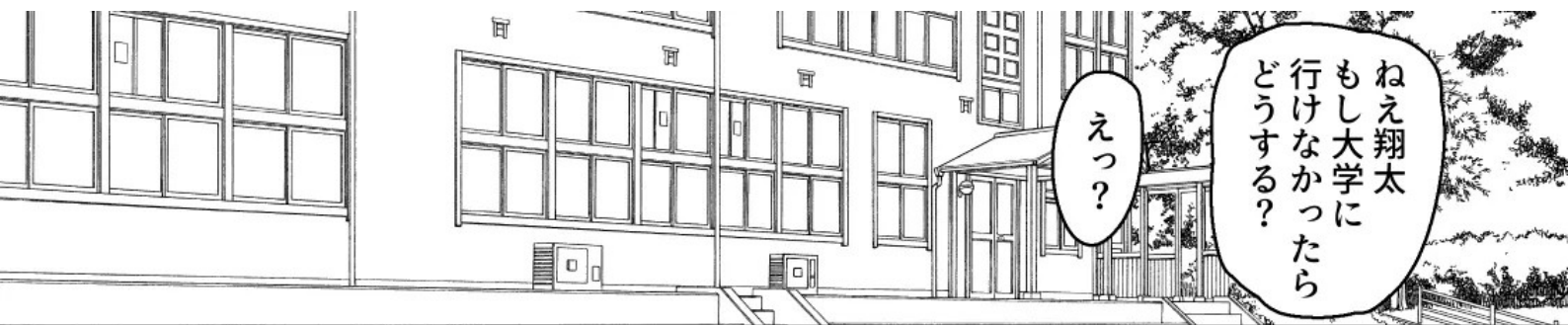
この辺の大学はどこも
風紀に厳しいから
進学できないよ？

進学できないから
何なんですか？

んぐっ！？

大学に行けなくても
私たちは一緒にいます！

私たちの邪魔を
しないでください！



翔太がいらない
大学生活…

また1人…
なんとなく
時が過ぎて…

知らない人と
よそよそしい
コミュニケーション
して

翔太とデートもせず
遠距離恋愛を
4年間…

そんなの寂しくて
耐えられない…

俺さ
葉月のおかげで
元気になったんだ

だから、家族よりも
葉月がいる生活を
優先したいんだ

そのために俺は
受験を頑張るよ

翔太…

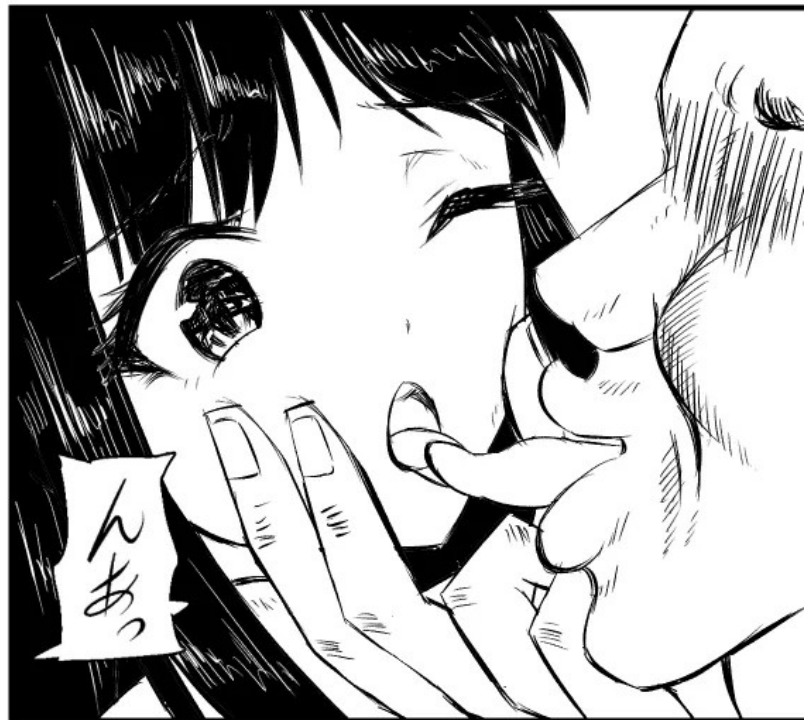
そんなに私を
頼ってたのね…

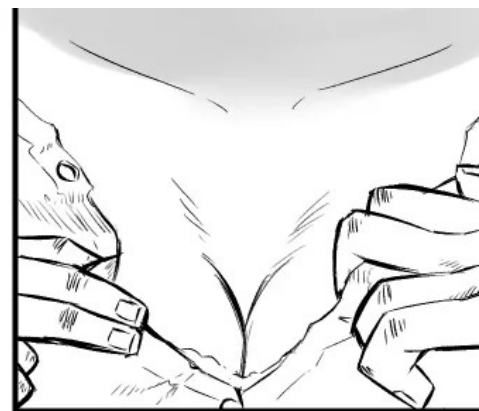
……っ

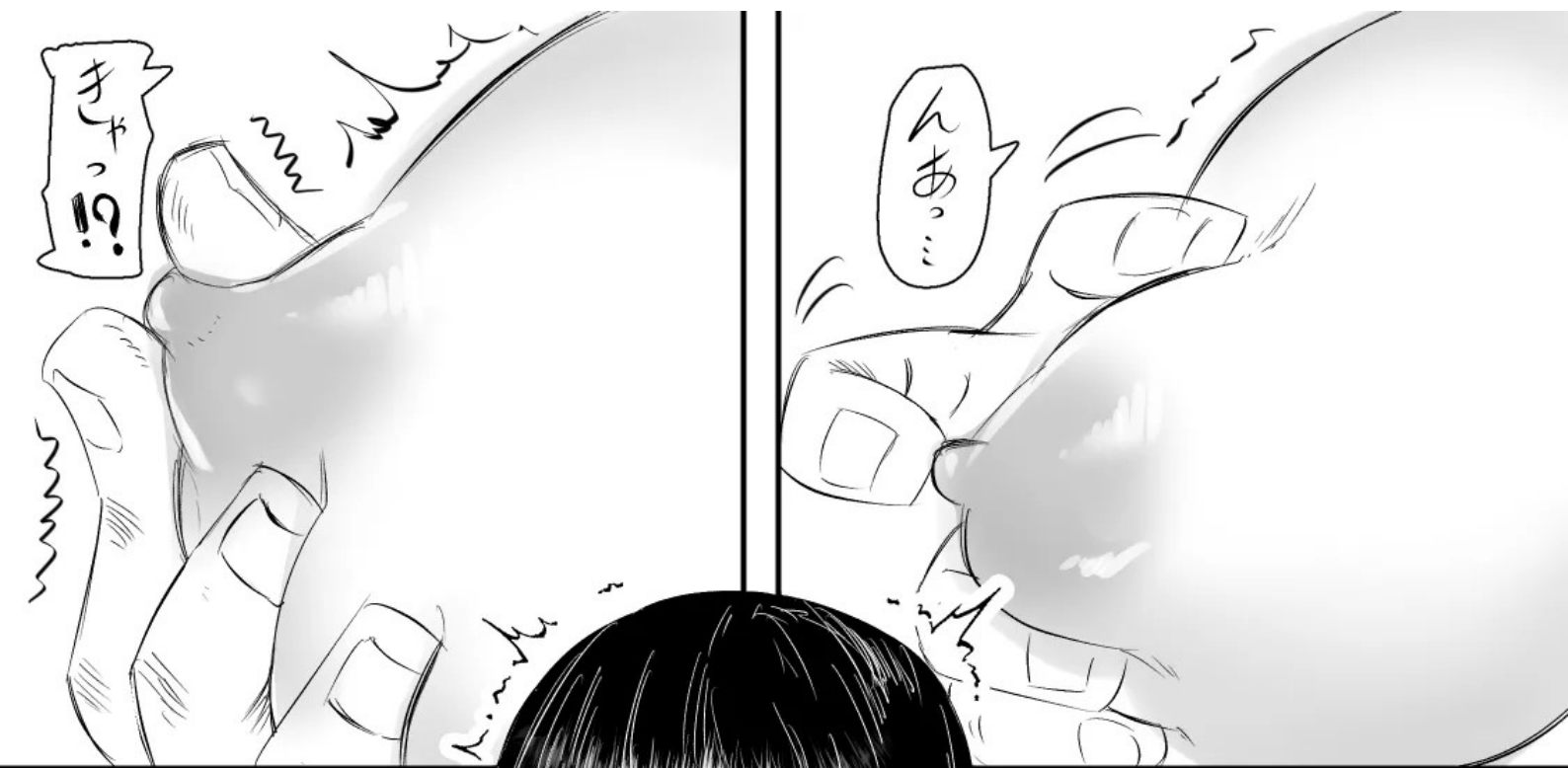
落とし穴って
変なところ
あるんだわ

それじゃあ私が
勉強にいっぱい
付き合うわ！

翔太の願望は
私が守ってみせる！







おや、夏川くん
乳首が固いぞ

あつ、やんっ!

艶めかしい
指使いで
クニクニと
摘んでくる

は

は

なんかウツトリしてない?
もしかして俺の乳首愛撫
気持ちいいとか?

そんな、わけ……
ないです……っ!

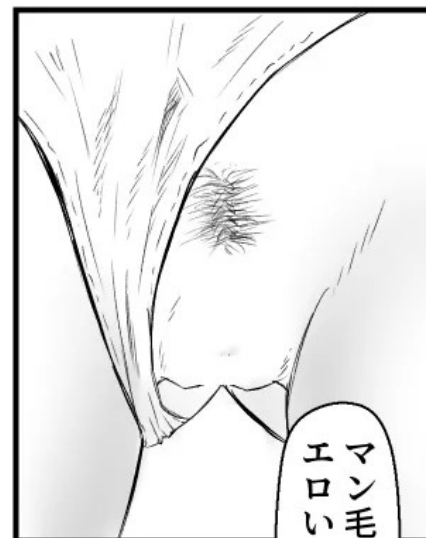


息ハアハア
させちゃって……
気持ちいいの?

気持ちよく
ないです……

彼氏に手コキ
してるときも
そんなエロい声
出してたっけ?

し、知りません……







イカ臭い…



……っ！



ほれ、しゃぶって
おくれ

何、この大きさ
翔太のより
ずっと大きい…



んぐっ！？

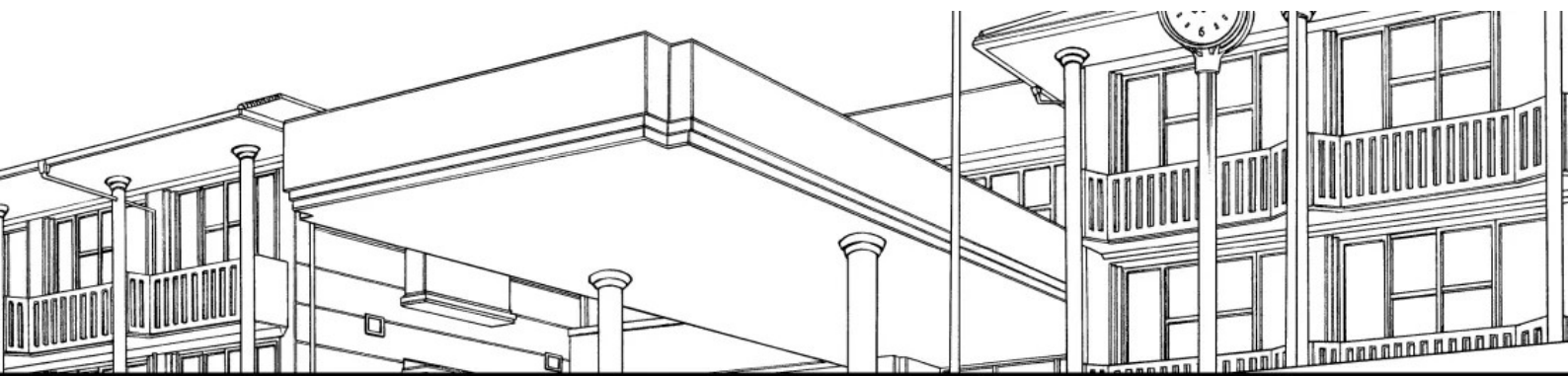


くうくう
夏川クンの
口の中
あったか…

んぷっ
んぷっ！

イヤっ！
ベタベタで
汚い！





葉月
どうしたの？
元気なさそう

う、ううん
大丈夫よ…



とてもじゃないけど
話せないわ…



あはは
今日は
間に合ったよ



おやおや
断れる立場なのかね？
さっきのクリイキも
撮影してるんだぞ

彼氏、ショック受けちゃうかも
受験が控えてるのにねえ

……



次もよろしくね
ちよつとずつ
仕込んでくから

次!?

クリ弄るだけで
終わらないよ

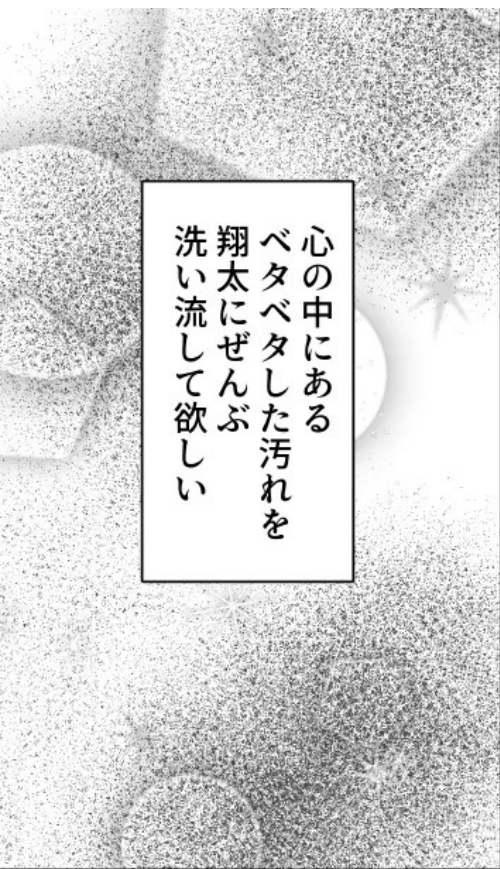
そんな
イヤです！



昨日は、先生の
ギトついた汗を
お風呂で洗い流して

イカ臭い精液が
染み込んだ下着も
すぐに洗濯した

それでも心の中は
気持ち悪い…



心の中にある
ベタベタした汚れを
翔太にぜんぶ
洗い流して欲しい



は、葉月
大胆だね…

こういう気分なの

わっ!!
む、胸が…っ!



!?!?



な、なあ、葉月…
胸、触ってもいい?

うん…



いやあーっ！



ごめんね
イヤってわけじゃ
なくて…



あっ…



は、葉月っ!?



どうしよう…
翔太に嫌な思いを
させちゃったわ…



やっぱ止めとこうか…
俺も調子乗りすぎたよ
すまない…

グフフ、偉いね
すぐ来てくれた
じゃないか…

今度はクンニで
ほぐしてあげよう

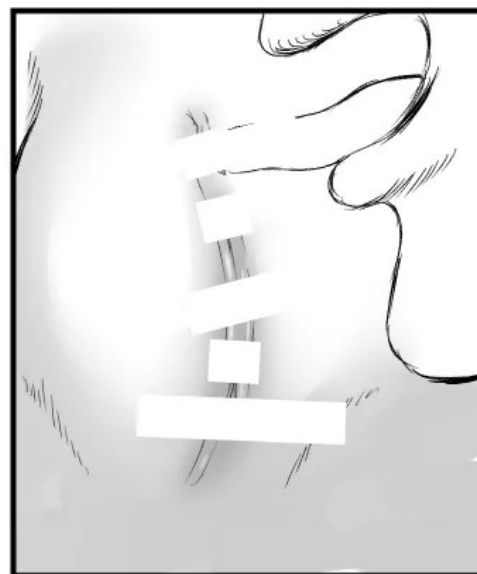
蛭山先生は
事あるごとに
私を呼びつけた



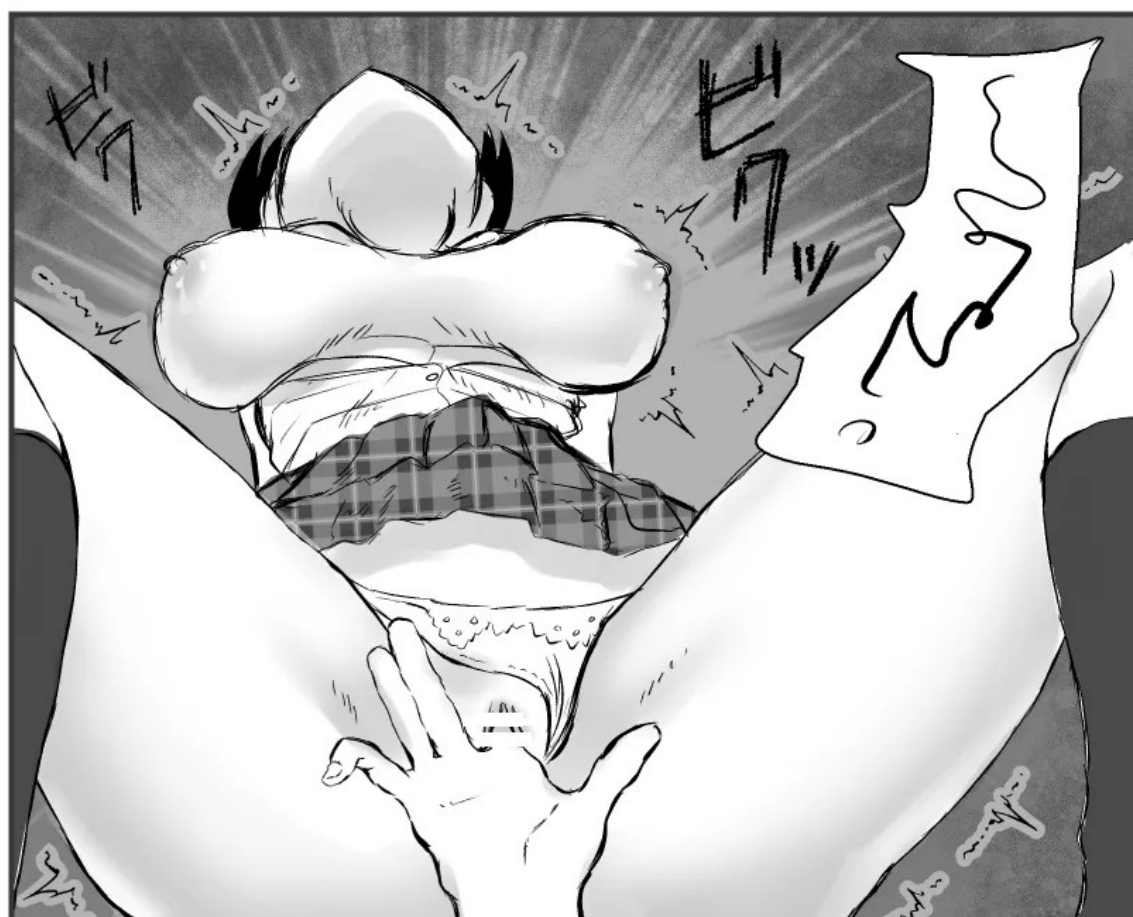
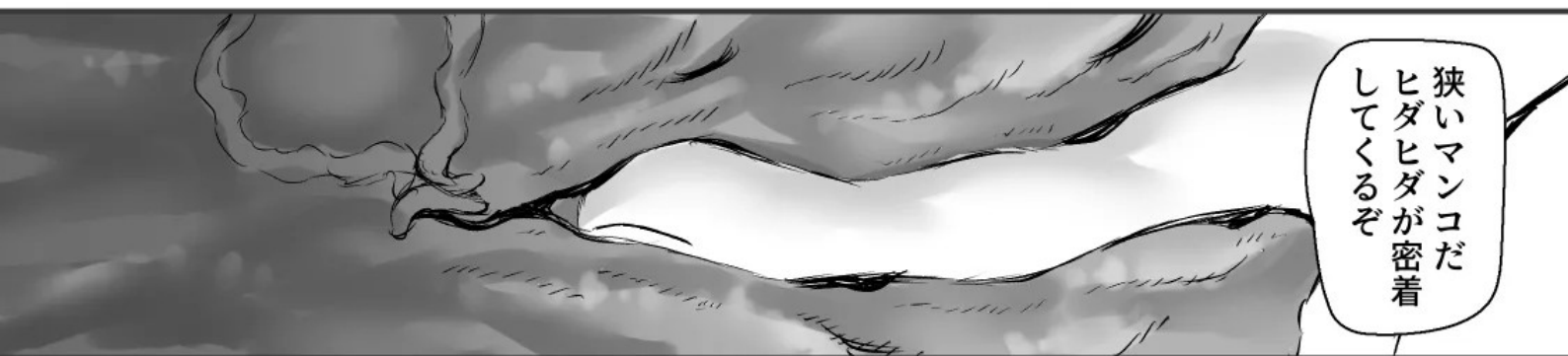
んっ…くうっ…
や、やめてください…
気持ち悪いです…

へえ、気持ちよさそうに
アンアン喘いでいるのに？

ち、違います…
気持ちよくなんか…

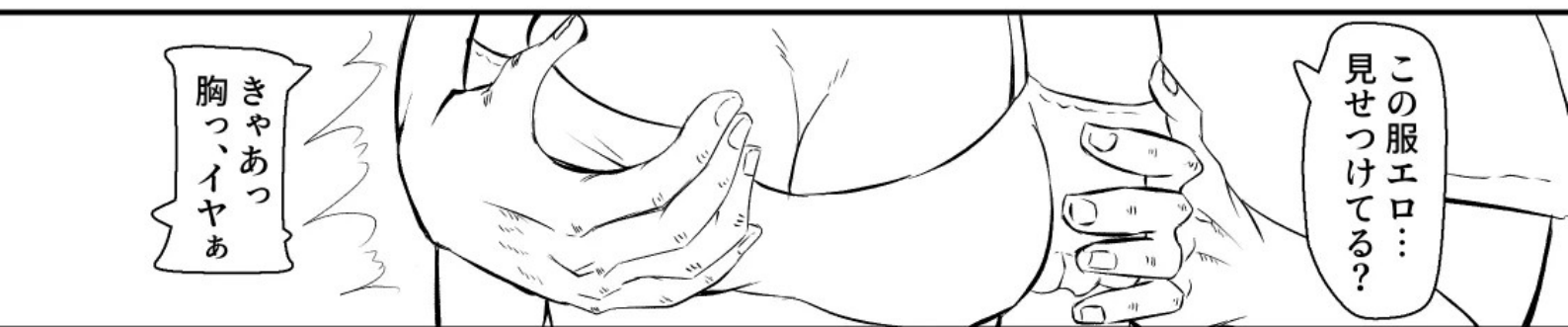
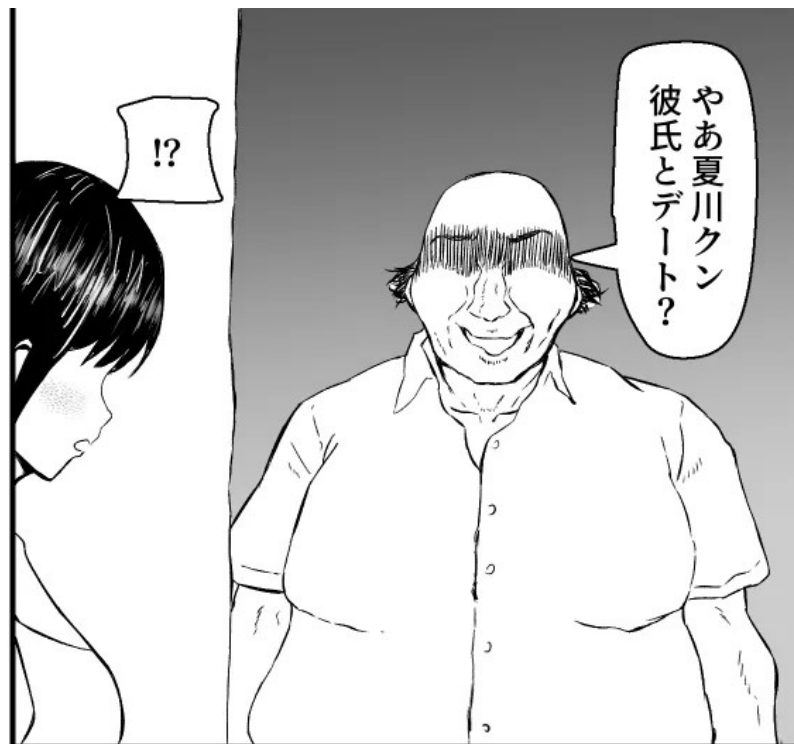


んんっ…









ほれ、濡れてて
すんなり挿入るぞ

いやあ…
止めてえ…

はうっ…
あんっ…

ほう…
だいぶ感度が
良くなってるねえ

ひやっ
ダメっ！

ギュウギュウ
締めおって…
バイブでも
感じるのか

ほれほれ
この辺が
好きだろう？

はうっ!?

もう、ヤバイ…
トイレで
こんなこと…

はあ

はあ









お、大きい…
こんなの
挿れられたら…



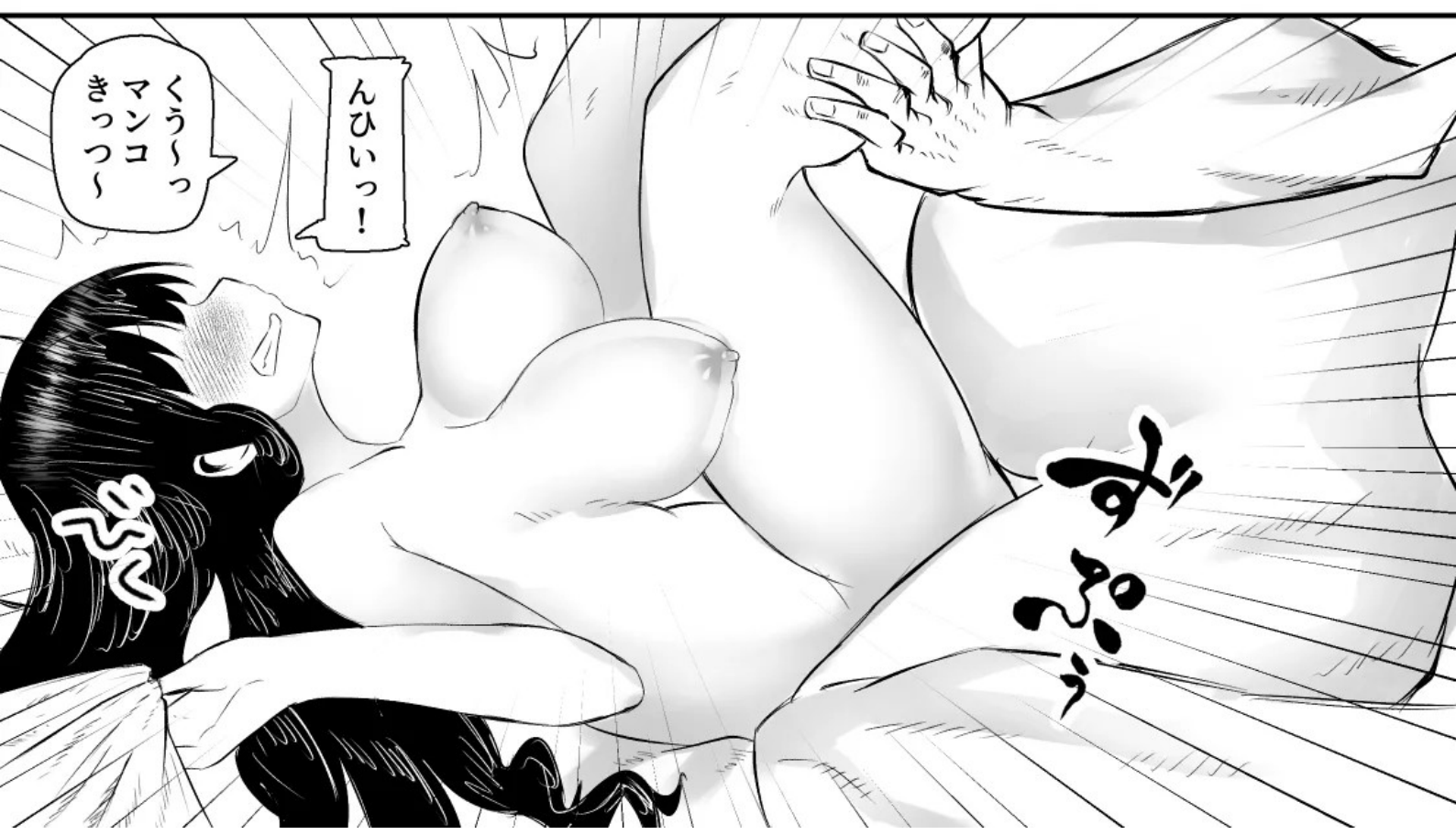
ほれ
今度こそ
チンポを
突っ込むぞ

!?



ほれ
挿れてしまうぞ

怖い…
いやっ!



ず
ぶ
う

んひいっ!

くうっ
マンコ
きつつ

何これえ…
おっきい…

何度も
ほぐしたから
痛みもなく
すんなり
挿入ったなあ

はあはあ…
頭がボーっと
する…

はあ

はあ

デカチンポで
突いてやるぞ

ひいっ!?

夏川クンのマンコ
キツキツで
たまらんのお!

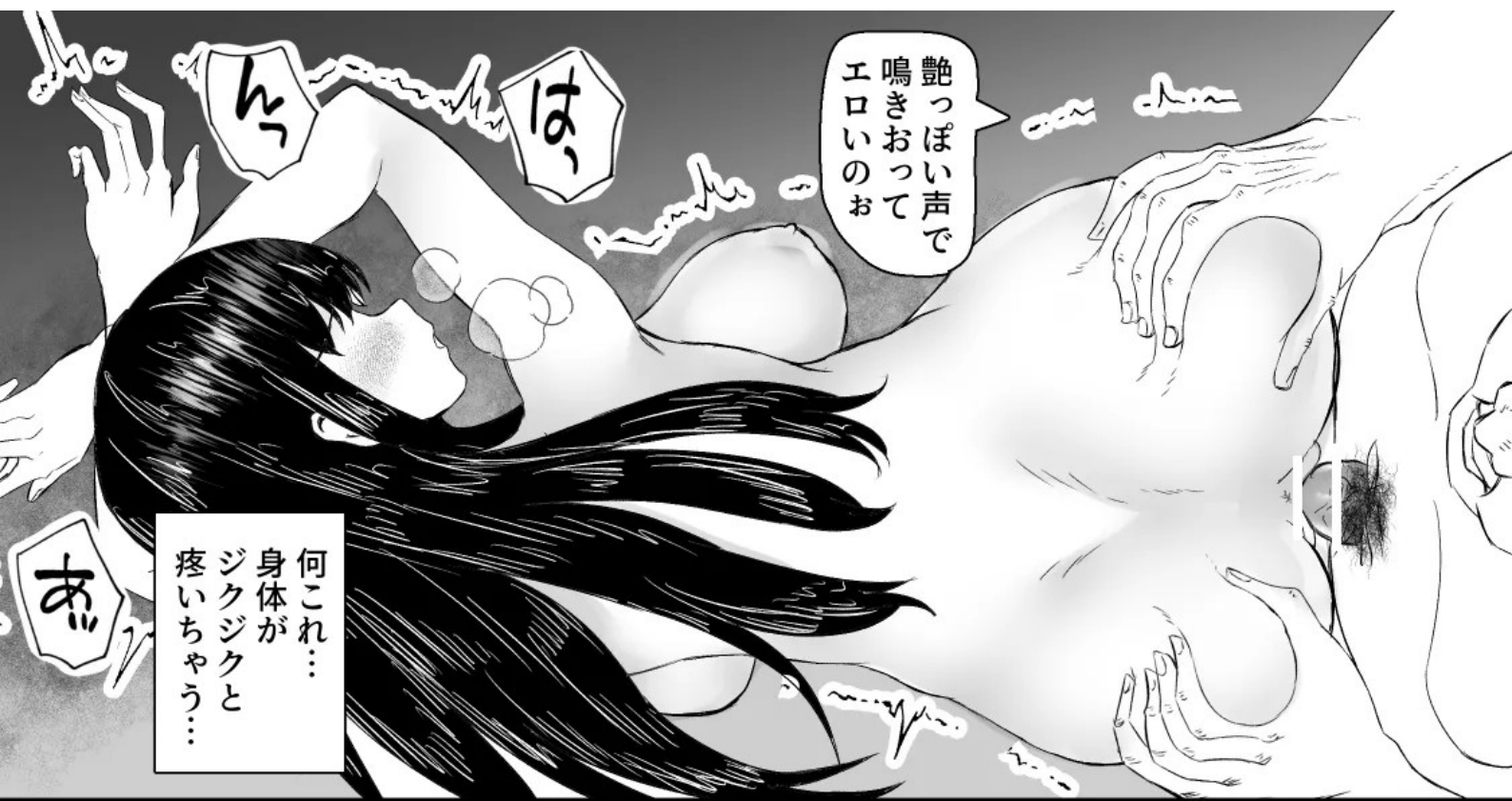
いやあつ
そんなにゴリゴリ
動かさないでえ…

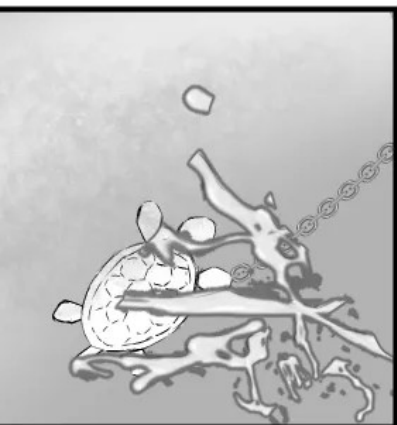
マン汁をビチャビチャ
垂らしおって
チンポ好きなのかね?

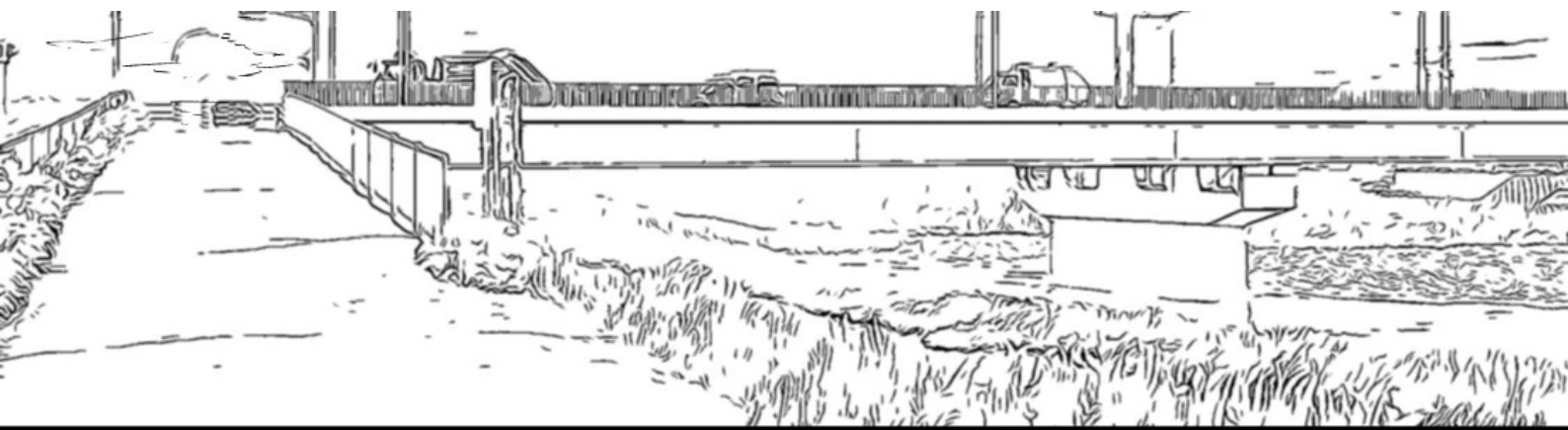
ち、違いますっ
ああんっ!

ズッ

ズッ







胸の谷間や



スカートの
視線を感じる…



は、葉月
今日は大胆だね…

そ、そうでしょ
着こなし
変えてみたの

本当は蛭山さんの
命令だけど



葉月っ
やっぱ
カワイイ!

またデート
したいな

ひゃあっ!?
デ、デート?



翔太
興奮してる…

いけない…
私まで
ドキドキする…







ああんっ
激しいっ！
あっ、あんっ！

今ごろ彼氏は
ヌいてるかね
グフフツ

日々のセックスは
蛭山さんが
好むものに
変わっていった

彼の嗜好に
合わせて
乳首を舐め…

レロレロすんの
最高っっ



おっぱいを擦り付け
奉仕を欠かさない…

ペニスに屈伏し
アンアン喘ぐ声を
耳元で聞かせて…

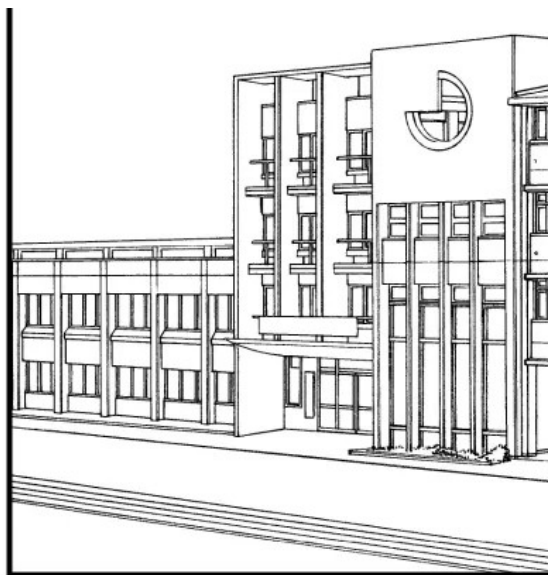
あっ…
あんっ…

フィニッシュへと
導かれていく…

私…限界…っ！









ごめんなさい
そんなつもり
じゃないの

わっ!?
葉月っ!?

翔太のこと
大好きよ

今まで溜め込んでた
悔しさや罪悪感が
どっと溢れ出た

翔太にもっと尽くしたい…
だけど、日に日に汚されて
翔太との距離が離れていく…



今夜、ホテルに
行きましょう?

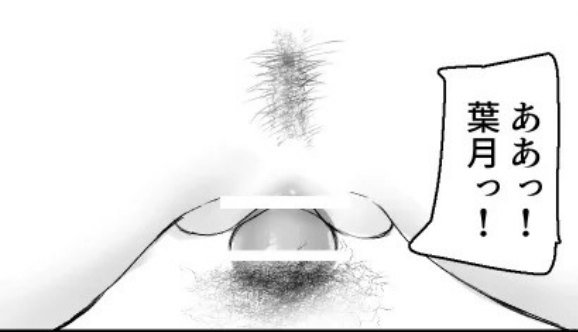
ええっ!?



なんで泣いてるの?
ほら、大丈夫だよ

それでも翔太は
優しく抱き返し
私を温かく
包んでくれる…









ナカ、まだ
ぐちよぐちよ…



指使いが
止まらない…

公園のトイレで
オナニーなんて
ダメなのに…



いいイキっぷりだ



んんっ！

声を聞かれたら
ヤバイのに…
イクっ…



ほれ
お待ちかねの
チンポだ

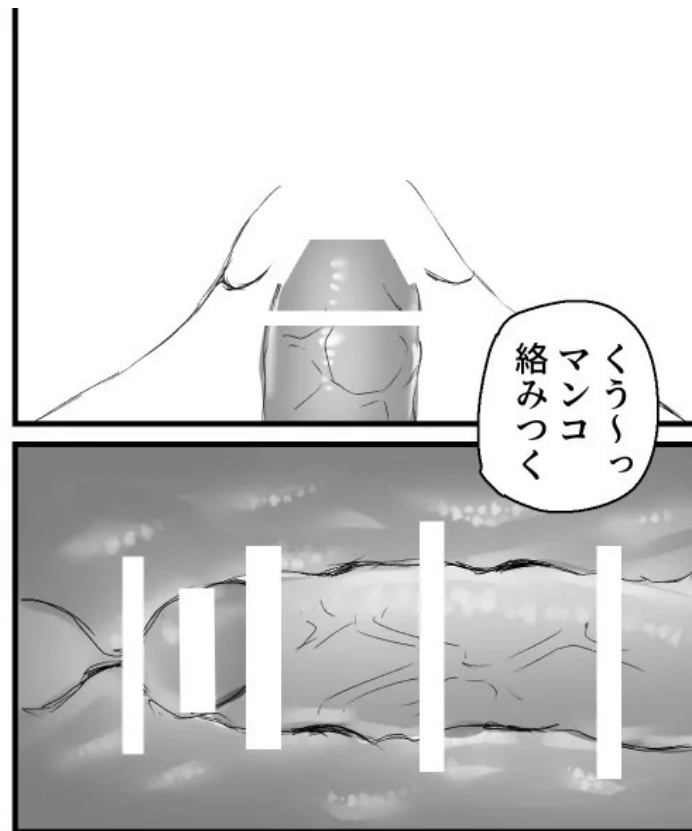
あっ…
ああっ…

ヤバっ…
この大きいの
感じちゃう…

グフフツ
彼氏のより
デカいだろう

マンコひくひく
させおって…

ひゃっ
やあっ！





あぁっ！
んあぁっ！

されるがまま
デカチンポに
翻弄されおって

すっかり
淫乱マンコに
仕込まれたなあ

腰が勝手に
動いちゃう！

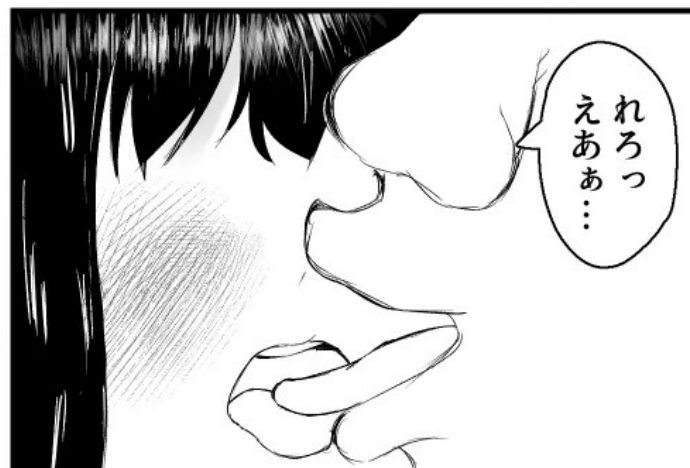


バストやヒップを
淫らに
擦り付けおって…
スケベ娘が…

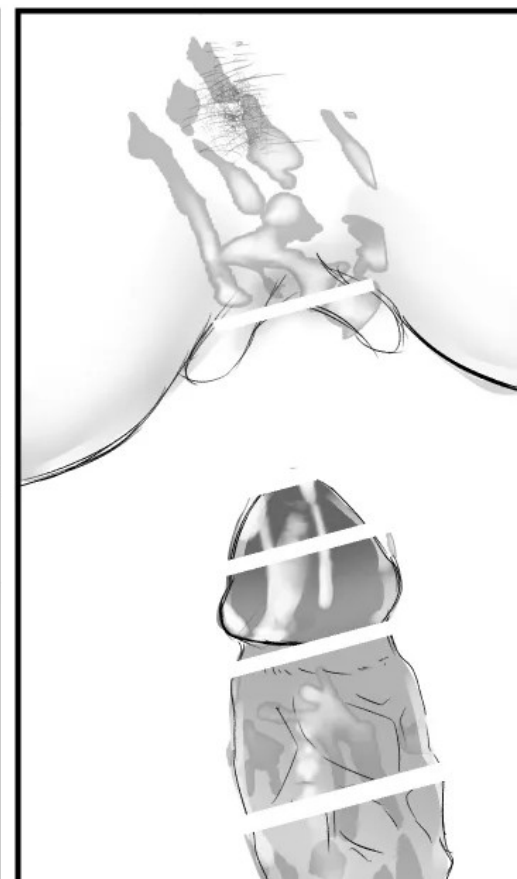
もう…ダメ…



ぢゅっ
ぢゅっ
ぢゅっ



れろっ
えああ…



いけないこと
してるのは
わかってる…

だけど
翔太が好きで
離れたくない

だから
最低でも
週1回は
デートした

葉月がこんな
オシャレな
レストランで
デートしたがる
なんて

たまには
張り切るのも
いいでしょ？

うん、嬉しい

いつも勉強
頑張ってるから
たまには2人で
息抜きしましょ

ああ

こんな時でも
ちよつと
ムラムラする

!?

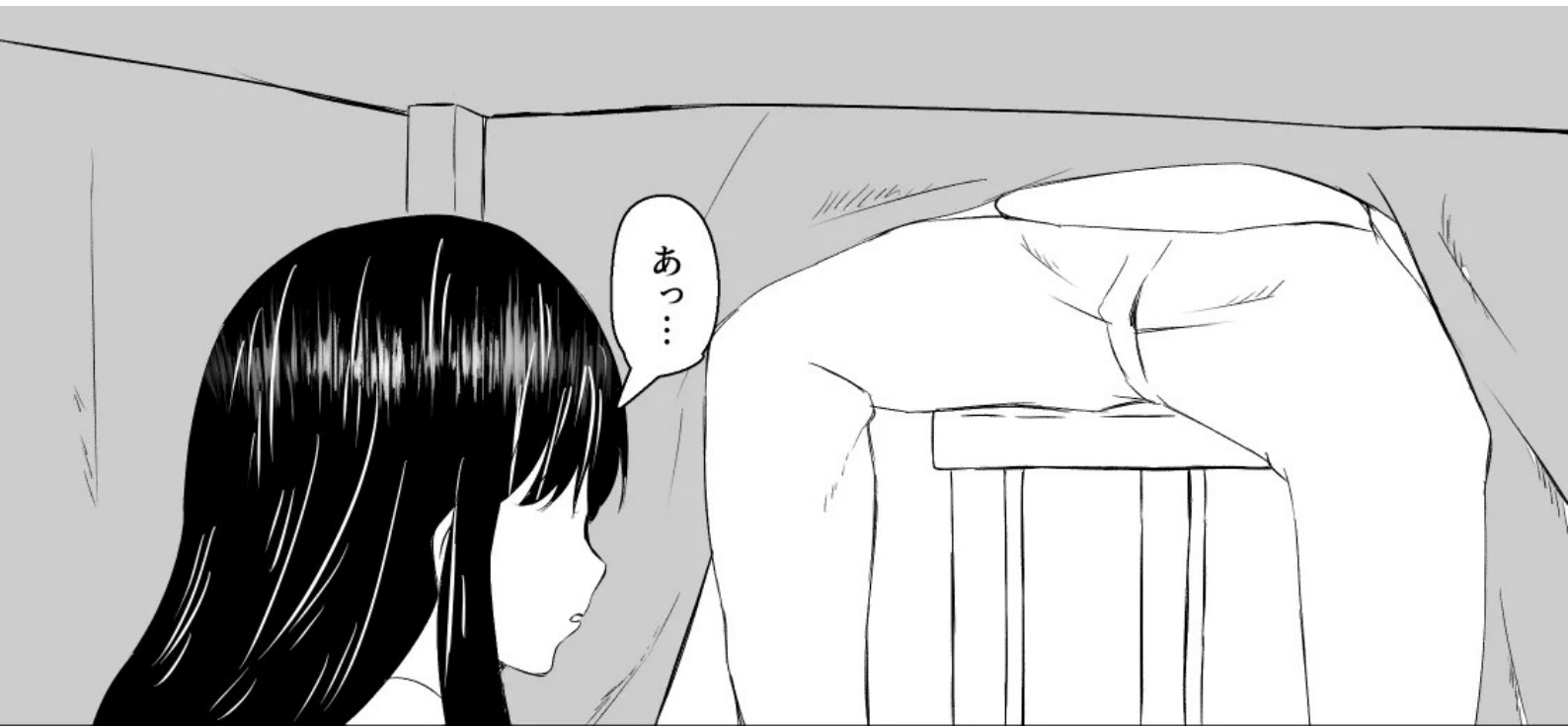
あっ…
スプーン
落とした

大丈夫？

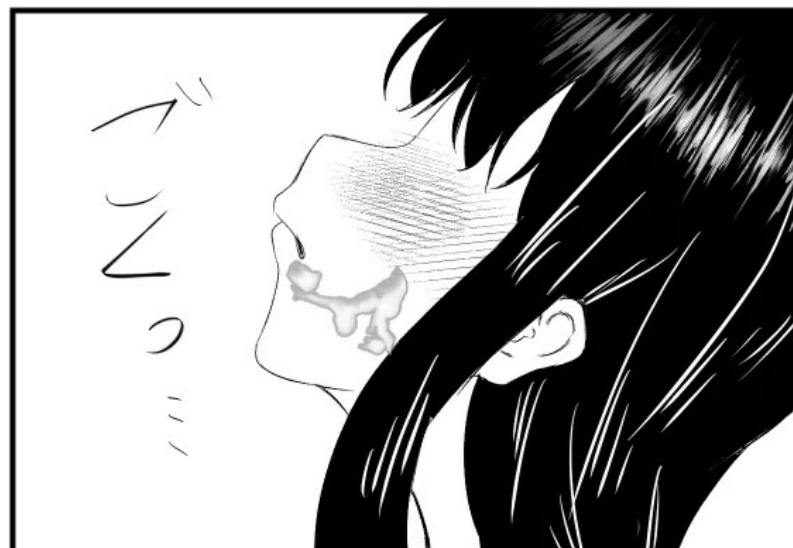
ドジったわ

レストランで
興奮するなんて…

調子が
崩れる…









ごめんね
カフェ行けない
また後で
通話するから



あっ
通話だ



翔太
調子どう？

うん、順調



はあ…
最近、1人が
多いなあ…

葉月が
いなくて
寂しいな…

距離感が
変わっちゃったよ…



はあはあ…
そ、そう…
よかったわ…

葉月
疲れてる？
息が荒いよ

えっ
う、ううん
何でも
ないわ…

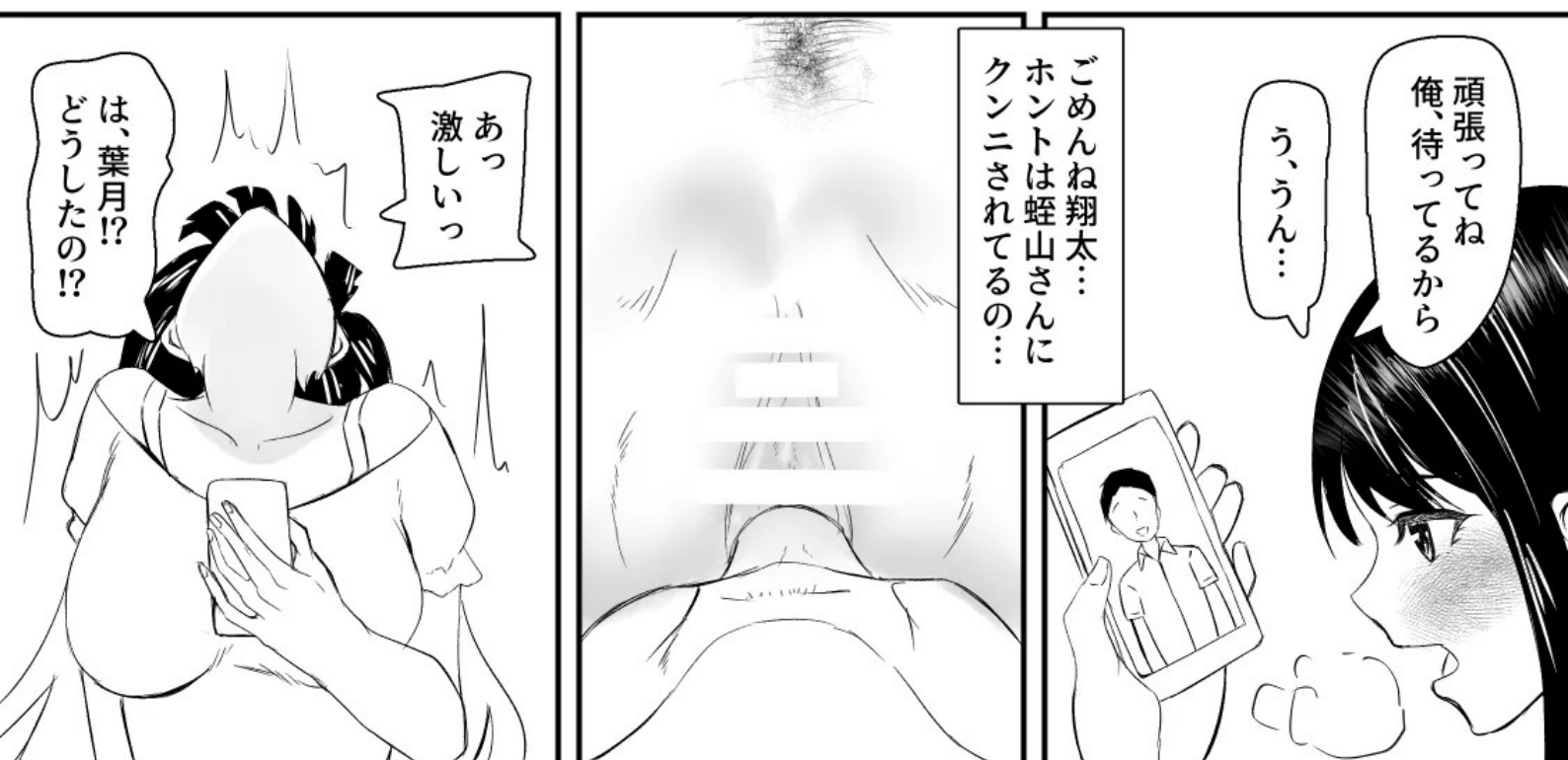


葉月は
何してるの？

えっ、私!?
そ、それは…
実家かな…

あははっ
かな、って何?
実家なんだね

そ、そうよ…
ちよつと家の
お手伝いを
してるの



頑張っ
てね
俺、待
ってる
から

う、うん…

ごめんね翔太…
ホントは蛭山さんに
クンニされてるの…

あっ
激しいっ

は、葉月!?
どうしたの!?



はあ…はあ…
もう…ダメ…
イキそう…

嘘ついでるの
バレちゃう…



葉月っ！
なんだか
息が荒くなってる

ぶちっ

もう限界っ！



ひぐっ!?

おやおや
潮まで吹いて
イクなんて
ハレンチだのう



葉月
大丈夫かな…

切れちゃった…

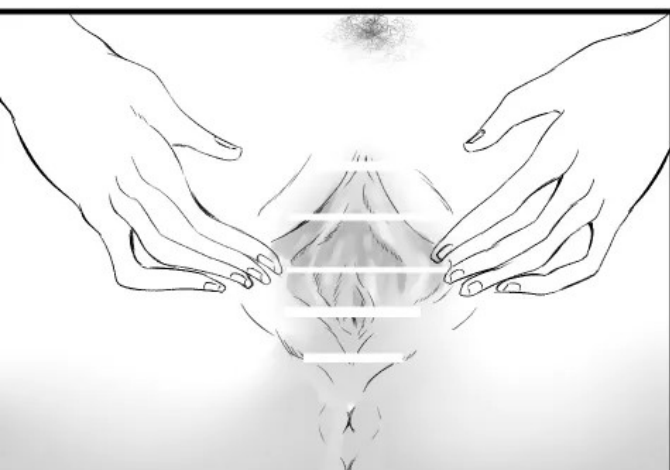
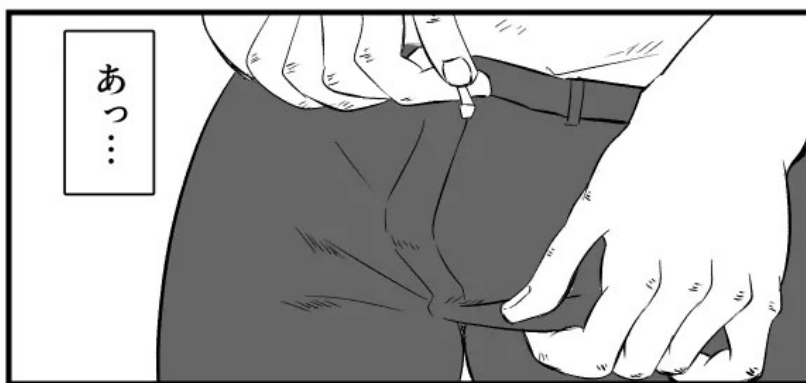
こんなの
我慢できない

れろ

れろ







お願いします…
オ、オチンポ下さい…

オマンコの
いちばん奥まで
挿れて欲しいです…









翌年、春

私たちは
大学生に
なった

ごめんね
遅くなっちゃった

いいよ
去年と立場が
逆になってるね

はははっ
そ、そうね…

葉月と
同じ大学に
行けてよかった

うん、私も…

ところで葉月…

さっきから
気になってるん
だけど…

??

なんか
脚が濡れてるね…

!?

妙に優しい
口調だった

それと、翔太は
何か言いたそうに
ためらっていた

……っ

朝、蛭山さんと
セックスしたから…

えっ、あははっ
走って来たからかな

……そっか

翔太の前で
嘘をつくのに
慣れてしまった…

翔太とデートして
求め合うのは今でも楽しい…

でも翔太には満たせない
ゾクゾクした世界から
私は抜け出せなくなった…

いつか、バレてしまう…
止めなきゃと思っても
身体の疼きは抑えられない…

ヒビが入ってる…

翔太とお揃いの
カメのストラップに
大きなヒビがあった

完全に割れずには
済んだようだ

しかし、ふとした衝撃で
真っ二つに割れるくらい
大きなヒビが入っていた

??

ふと視線を下に向けたとき
ストラップが目に入った

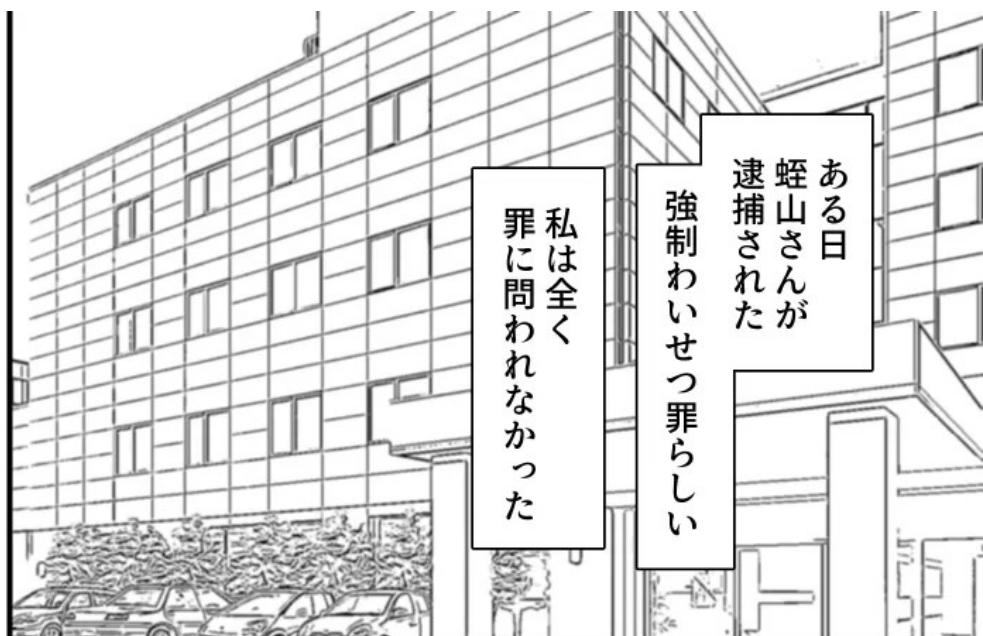
ある日
蛭山さんが
逮捕された

強制わいせつ罪らしい

私は全く
罪に問われなかった

突然のことで
頭が追いつかなかった

でも1つだけ
確かなことがある



これでやっと
終わったのだ…

私の身体が
汚される日々は
もうなくなる…

心から安堵した

翔太と尽くし合う
生活に戻る…

だが、異変は
すぐに訪れた

ずっと習慣だった
セックスが
突然なくなったのだ

身体にいつも
違和感が残り続けた

翔太とデート中でも
そわそわして
落ち着かない…

葉月
大丈夫？

う、うん…
平気よ…

つまり…



セックスがしたい…

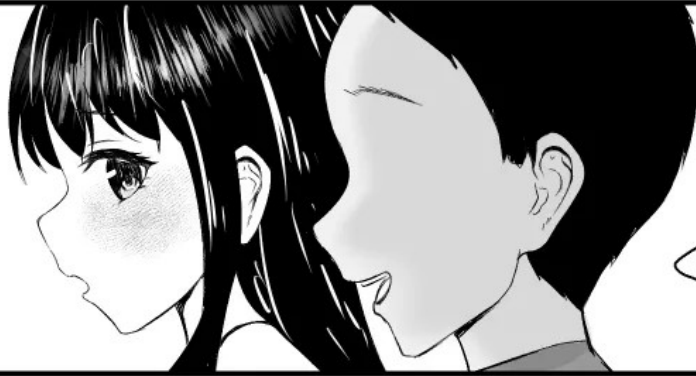
ムラムラが
収まらない…



葉月
調子が悪いの？
ソクソク
震えてるよ

翔太は
いつもより
優しい声で
そう言った

彼は薄笑いを
浮かべていた



もう終電は過ぎたし
タクシーも並んでるな…

いっそのこと
ホテルで休もうか？

まるで最初から
台本が用意されて
いたかのようだ

翔太は手際よく
私をホテルへ導いた





私はすぐ
ベッドに
横になった

すると翔太は
何の躊躇もなく
ベッドに割り込んで…



葉月
こうされるの
好きなんだろう？

あっ…それ…

一瞬、心が跳ねた
蛭山さんに何度も
されたやつ…

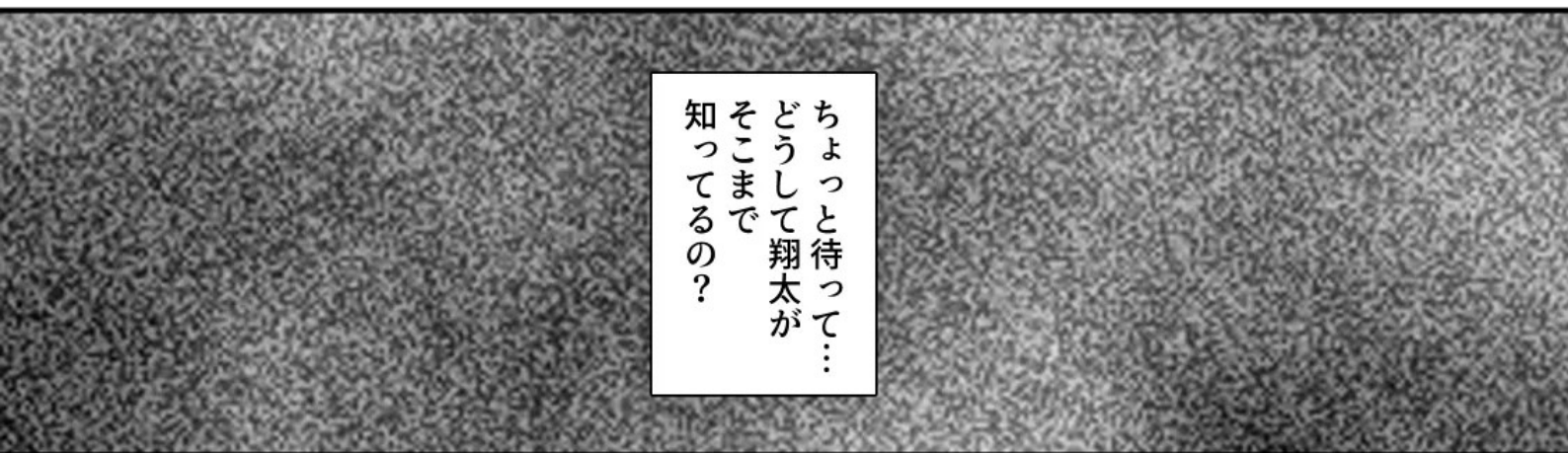


胸とか尻とか
撫でられて
ハアハアしてんの？
エロいなあ

これ、蛭山さんと
同じ触り方…

ダメっ…身体が
ゾクゾクって
疼いちゃう…

汚されてた感覚を
思い出しちゃう…









くうううっ！

お、おっきい…
ペニスが前より
大きくなってる!?

俺のチンポ
デカくなったろ？
チントレしたんだぜ
ずっと悔しくてさ



葉月はここが
開発されてん
だってな？

ひやつ、そこっ
グリグリダメえっ！

奥までぴったり
届くだろ？



おらっ、出すぞ
んんっ！







とろろ...



また汚されちゃった...

もっと早く
翔太にぜんぶを
打ち明けていれば

綺麗な恋のまま
いられたのに…

はあ…はあ…
葉月、まだ俺
足りないよ

そんな後悔は
どす黒い欲望で
打ち消された

この先ずっと
翔太を裏切ったことを
詫び続けるのだろうか…

そして彼に汚されて
悔しさの込められた精液を
膣内に注がれる

その繰り返しの日々…

カメのストラップは
割れずに済んだ

しかし、サビが広がり
どんどん黒く変色して
汚れは落ちそうになかった

END